

経営情報学部 2020年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧表

教員区分	教員氏名	メールアドレス	担当科目分野	担当科目	単位数	実務経験の内容等
専任	金 美德	kim-m@tama.ac.jp	問題解決学科学科目群	アジア経済論Ⅰ	2	株式会社三井物産戦略研究所にて北東アジア地域を担当・統括し、世界潮流の把握、同地域の政治経済動向とビジネストレンドの分析、地政学リスクの助言、アジア戦略の提案などを行った。具体的には、三井物産株式会社の経営幹部・各部署・各支店、二本会(三井グループ社長会)、関係省庁向けに資料・情報の提供やブリーフィングを行った。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			問題解決学科学科目群	韓国経済論	2	
	小林 英夫	kobayashi-h@tama.ac.jp	問題解決学科学科目群	経営情報論Ⅰ	2	日本IBM株式会社でSEおよびソリューション営業に従事後、イー・アクセス株式会社(現ソフトバンク)の創業に参画。主に組織管理や経営企画を担い東証1部上場へ貢献、代表取締役副社長を務める。子会社としてイー・モバイル株式会社(現ソフトバンク・ワイモバイル事業)の創業も手掛け、経営戦略本部長・情報システム本部長、副社長を歴任。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			問題解決学科学科目群	経営組織	2	
			問題解決学科学科目群	ベンチャー企業論	2	
	崎濱 栄治	sakihama-e@tama.ac.jp	問題解決学科学科目群	データ分析実践	2	SPSS Japanでテクニカルサポート、みずほ第一フィナンシャルテクノロジーで金融工学コンサルティング、フランスのアムンディではクオンツファンドマネジャーとして2,000億円超の年金資産運用を経験。その後、Webマーケティングベンチャーのイルグルム、ファンコミュニケーションズでデータサイエンスチームを統括。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			問題解決学科学科目群	マーケティング・データ分析	2	
	志賀 敏宏	shiga@tama.ac.jp	問題解決学科学科目群	ビジネス戦略	2	株式会社日立製作所 家電研究所にて、世界初の半導体撮像素子によるビデオカメラの電子回路設計、半導体開発、シミュレーション、製品化に従事。特許出願10件余。株式会社三菱総合研究所にて自動車・電機企業の新規事業の開発・マーケティングコンサルティング等70件程度に従事。高精細カラープリンタ事業等を支援。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	長島 剛	nagashima-t@tama.ac.jp	問題解決学科学科目群	事業デザイン論Ⅱ	2	多摩信用金庫の価値創造事業部や地域連携支援部で、多摩市・多摩信用金庫・多摩大学の三者による「多摩市創業支援事業連携協定」締結をはじめ、地域の自治体や大学・高等等との連携や地元企業やNPO等のマッチングに多数関わる。多摩ブルー・グリーン賞、ブルームセンター、課題解決プラットフォームTAMA、創業支援センターTAMA等開設。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			問題解決学科学科目群	地域金融論	2	
	中庭 光彦	nakaniwa@tama.ac.jp	問題解決学科学科目群	地域観光論	2	日本コンベンションサービス株式会社でPCO(Professional Congress Organizer)となり国際航路会議、多摩学長国際会議等数々のMICEの企画・運営、自治体のMICE戦略策定業務に携わる。その後、株式会社プロジェクトブレンを創業し、企画担当役員・文化事業のプランナーとして活躍。1999年のミヅカン水の文化センター創立に当初から参画し、第11回(2009)日本水大賞厚生労働大臣賞を受賞。現在もアドバイザーを継続中。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			問題解決学科学科目群	地域政策プランニング	2	
			問題解決学科学科目群	地域ビジネスプランニング	2	
	西村 知晃	nishimura-t@tama.ac.jp	問題解決学科学科目群	人材マネジメント論	2	三菱マテリアル株式会社人事部門において、東京本社および九州工場(福岡)の人事・総務を経験。給与・賞与・退職金制度の改定・実施、労組折衝のほか、新卒・中途採用、社員教育を担当。2002年社会保険労務士資格取得。神戸大学大学院にて組織行動論、人的資源管理論を学ぶ。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			問題解決学科学科目群	リーダーシップ論	2	
	バートル	baatar@tama.ac.jp	問題解決学科学科目群	アジア経済論Ⅱ	2	株式会社三井物産戦略研究所国際情報部にて、親会社の株式会社三井物産の会長以下経営陣をはじめ、経営企画部、各商品本部(含国内・海外拠点)向けに、大中華圏におけるビジネス戦略の立案・企画と情報支援活動に参画。また、三井グループの関連企業の経営陣向けにも定期的な情報支援活動に従事した。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
			問題解決学科学科目群	中国経済論	2	
	初見 康行	hatsumi@tama.ac.jp	産業社会科目群	キャリア・デザインⅢ	2	株式会社リクルートHRマーケティング(現・リクルートジョブズ)において法人営業に従事。中小企業から大手企業に対し、広告媒体を使用した採用支援活動を行う。その後、自社の人事部に異動し、主に新卒採用の企画立案・実施に携わる。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
産業社会科目群			キャリア・デザインⅣ	2		
浜田 正幸	hamada-m@tama.ac.jp	産業社会科目群	業界研究Ⅰ	2	本田技研工業株式会社、株式会社本田技術研究所にて自動車レースのF1プロジェクトのマネジメントチームに参画。その後株式会社野村総合研究所で経営コンサルタント。独立して株式会社ケアブレインズ創業。共同ファウンダー、株式会社ジェイ・フィール創業。取締役副社長。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。	
		問題解決学科学科目群	消費心理	2		
松本 祐一	matsumoto@tama.ac.jp	問題解決学科学科目群	NPO・NGO論	2	株式会社シー・エンド・シーにて、国内食品・飲料メーカーの商品開発のための市場調査の企画、実査、分析等に従事、その後株式会社アイランドティーにて、国内外のIT関連企業のマーケティング、特に顧客開発のための戦略立案・実行を担当。また、学生時代に国際NGO国境なき医師団日本事務局にて、学生NPOの立ち上げと運営を経験している。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。	
		問題解決学科学科目群	事業デザイン論Ⅰ	2		

教員区分	教員氏名	メールアドレス	担当科目分野	担当科目	単位数	実務経験の内容等
非常勤	青木 克彦	aoki-k@tama.ac.jp	産業社会科目群	産業社会特講(企業とは?-総合社社の事例から-)	2	三菱商事株式会社、三菱UFJリース株式会社で、マネジメント、経理、財務、金融関連の業務を幅広く担当。特に、数多くの企業買収分野での経験豊富。米国駐在経験も含めグローバルなビジネスに永年携わっている。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	荻阪 哲雄	ogisaka@tama.ac.jp	産業社会科目群	産業社会特講(ビジョン・マネジメント論2020春)	2	警視庁、ベンチャー企業で勤務の後、組織風土改革プロフェッショナル・ファーム スコラ・コンサルトの創業期に参画。同社パートナーを経て、独立。職場の結束力を高めて、ビジョンを行動へ変える独自手法『バイディング・アプローチ』を開発・提唱して、株式会社 チェンジ・アーティストを設立。代表に就任。これまでに、3万時間の企業コンサルティングを展開して、1万2000名のリーダーを支援する。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	北川 隆文	kitagawa-t@tama.ac.jp	問題解決学科目群	アメリカ経済論	2	1981年～2008年、経済産業行政に従事し、中心市街地活性化法等10本の法律の制定・改正を行った。92年～95年、在ロスアンゼルス総領事館経済班長として、日米通商摩擦等の実務を担当した。99年～02年日中経済協会北京事務所長を務めた。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	橘川 幸夫	kitsukawa-y@tama.ac.jp	産業社会科目群	産業社会特講(人間・メディア・社会の構造と未来)	2	1972年、音楽投稿雑誌「ロッキングオン」創刊、編集室長。1978年、全面投稿雑誌「ポンプ」を創刊、編集長。その後、メディア開発、マーケティングリサーチ、企業コンサルティングなどを勤める。1996年、株式会社デジタルメディア研究所を創業。インターネット関連の業務、コンサルを行う。「暇つぶしの時代」(平凡社)「森を見る力」(晶文社)など著作多数。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	久米 信行	kume-n@tama.ac.jp	産業社会科目群	ビジネスコミュニケーションⅡ	2	イマジニアでゲーム企画開発と営業、日興証券(現SMBC日興証券)でAI相続診断システム開発・研修担当を経て、家業のTシャツメーカー久米繊維工業の三代目経営者(現在相談役)。いちばやくICTを活用し、日経インターネットアワード、経済産業省「IT経営百選」、東京商工会議所「勇気ある経営大賞」特別賞を受賞。APEC2010中小企業サミット日本代表。東京商工会議所墨田支部副会長、墨田区観光協会理事として観光地域づくりに邁進。墨田区文化振興財団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本舞台芸術振興会、日本吟剣詩舞振興会の評議員として文化振興と国際交流にも尽力。2020年開学のIU(情報経営イノベーション専門職大学)教授に就任予定。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	後藤 涼子	goto-r@tama.ac.jp	問題解決学科目群	データベースⅠ	2	野村證券株式会社企業情報部を経て、ゼネラルビジネスサービス株式会社にて企業向けMS Office等各種アプリケーション、WEB制作研修等に携わる。その後ITインストラクター及びライターとして、講師活動を行うとともに、IT関連書籍の執筆多数。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	久恒 啓一	hisatsune@tama.ac.jp	産業社会科目群	ビジネスコミュニケーションⅠ	2	日本航空入社。ロンドン空港支店、客室本部労務担当等を経て、本社広報課長、サービス委員会事務局次長を歴任。ビジネスマン時代から「知的生産の技術」研究会(現在はNPO法人)に所属し著作活動も展開。その後、新設の宮城大学教授を経て、多摩大学経営情報学部教授、副学長を歴任。100冊を超える著作や雑誌への寄稿、講演などで活躍中。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
計:学部等共通科目					62	